

「Choju」だより

株式会社エース・E&L
平原 覚

【テレビのボリューム設定値が激減！】

「Choju」は、2016年11月の販売開始以来、様々なお客様のご意見や困っている問題を解決すべく対応してきております。今回は、次第に聴こえが悪くなった女性のお話です

(快活な女性にも難聴が忍びよる)

以前に「Choju」を試聴した方が、「いよいよ聴こえが悪くなってきたので購入したい」と連絡が来ました。初めにお会いした時は、快活なお母さんでしたが、昨年ご主人を亡くされてから、ふさぎこみの生活になり、更にコロナ禍でずっと家に居る事が多くなったようです。以前は、時折顔を見に来ていた子供さん達に「テレビの音大きい！」と指摘されていましたが、そのままやり過ぎてきました。ひとりで暮らすうちに、次第にテレビのボリュームが大きくなってしまっ様です。

この様なことは、一人暮らしになった方に良く見られる現象です。だれにも迷惑をかけないという考えで、TVのボリュームを、次第に上げていき、聴こえがどんどん悪くなっています。

(「CHOJU」のTVタイプを設置しました。)

早速、この女性宅を訪問しました。今までは、お手元スピーカーを使用していましたが、次第に聴こえが悪くなり、良く聴き取れない状況になっていました。聴こえを取り戻すため「Choju」のTVタイプを設置させていただきました。テレビ側に「Choju」の送信機を設置し、この音声を「Choju」本体で受信し聴こえる様にしました。「Choju」本体のイヤホンに耳に差し込んでもらったところ「確かによく聴こえる！」と言われました。この音声はFM無線で飛ばしていますので、周りの雑音が入らず、TVのきれいな音声を聴くことができます。また、「Choju」のTVタイプは、TVの音声を聴きながら、人との会話はマイクを通して聴こえます。TVを見ながら、家族と会話ができる優れモノです。

(寝室のテレビボリューム値が激減！)

女性は階上の寝室でも、夜にヘッドホンを着けてテレビを観るのを習慣にしていました。この方法では同様に、聴こえが悪くなっており、居間のテレビと同様に、寝室にもTVタイプをつけて欲しいとご要望されました。さっそく送信機の取り付けを行いました。ご本人が、ちょうど良い音量にボリュームを設定したところ、以前の設定は46でしたが、「Choju」での設定値は12でした。34も音量の設定を下げられました。普通TVのボリュームは、かなり難聴の人でも標準の2倍くらいです。しかし、この女性は、約4倍近くに設定されていたこととなります。

(聴こえを悪くする聴覚補助器:手元スピーカー、ヘッドホン)

(聴こえを改善できる聴覚補助器:「Choju」)

女性は、聴こえを改善するため、耳元スピーカーやヘッドホンを使用してきました。しかし、これらの道具は、聴こえを改善する働きはありません。一時的に聴こえますが、この音量になれると、更に音量を上げないと、聴こえなくなります。このことは、補聴器と同じ原理です。「Choju」は、良い音声を脳に届けるため、脳が活性化され「アイウエオ」の聴こえが次第に改善されます。言葉の認識力を高められるのは、「Choju」だけです。